

# 平成29年度 施政方針

## 3つの守りと3つの攻めを推進

3つの守り「医療・福祉を守る」「町内企業・事業所を守る」「集落・地域を守る」  
3つの攻め「産業振興・ものづくりの推進」「教育・人材育成の推進」「定住・人材誘致の推進」



若者の力は地域の元気の源



長生き体操で「健康長寿」



今年の全国和牛能力共進会は宮城県で開催



子育てはみんなで楽しく

地方創生の根幹である、本町の総合振興計画は2年目、地方創生・総合戦略の取り組みは3年目を迎えます。とりわけ人口減少対策として、「結婚し、子どもを産み、育てる喜び」を実感できる環境の構築を進めてきました。その結果、平成28年の出生者数は、前年の21人を上回る34人。子どもがいる世帯数も増え、取り組みの成果が表れてきています。

今後も、地方創生の取り組みや、公約に掲げた「3つの守り」と「3つの攻め」の推進に全力を尽くし、町民みんなが飯南町で暮らすことを幸せと実感できる「飯南町らしい」町づくりに邁進します。かけがえのない私たちのふるさと「飯南町」のために。

### 自治・協働

- 協働のまちづくりの推進
- 地域おこし協力隊・集落支援員の配置
- 小さな拠点の形成

持続可能な地域運営のあり方を、集落実態調査を通して検討します。

小さな拠点は、公民館区を枠組みとし、生活を支える新たな地域運営の仕組みの構築や拠点づくりを進めます。また、6月にオープンする頓原拠点複合施設の利用促進・周辺活性化や、来島地区の拠点施設整備への取り組みを始めます。

用を助成する「結婚新生活支援補助金(国の制度)」を活用して支援します。

ふるさと教育を中心に、保小中高一貫教育の一層の充実を進め、定住推進や地域活性化につなげます。ICT機器を活用した主体的に学ぶ授業づくり、学習支援館では家庭学習の習慣化や進学支援など、生徒一人ひとりの力に応じた指導と支援を行います。

### 産業

- 農林業の振興
- 観光の振興
- 商工業の振興
- 建設業界の担い手支援

「夢と希望の持てる農業」の実現に向けて、「飯南米」の品質向上と有利販売、平成30年以降の生産調整の見直しを見据えた需要に応じた生産を進めます。

また、1農場1担い手の実現に向け、集落営農の広域連携や農業法人の設立を進めるため、農業担い手支援センターを設置します。園芸振興は、リースハウス制度による新規就農者支援と、ハウスの新設やリフォームを支援し、生涯現役で農業を営める環境を整えます。

### 保健・福祉

- 健康づくりの推進
- 地域医療の充実
- 地域福祉の充実
- 高齢者などにやさしい環境づくり

小さな町だからこそ可能な地域ぐるみの健康づくりや、介護

護予防を含む地域の助け合いを進めます。健康管理の意識向上を目的に、健診受診者に「あかぎスタンプ会」とんぼら夢カード会共通のポイント券を発行します。職場の健康づくりとして、企業・事業所への保健師訪問や健康情報の提供、情報紙の発行などを計画しています。

1年間で、25地区約290人高齢者人口の約15%の参加があった「長生き体操」のさらなる普及を目指します。

医療では、常勤医師体制の維持、医療人材確保に取り組み、ニーズに合った医療体制の構築を進めます。地域包括ケア推進局は、医療福祉職場の魅力向上や人材確保、医療福祉の今後の方角性を官民一体で検討します。

- 防災行政無線施設の整備
- 消防ポンプ積載車の整備
- 防災体制の整備

平成28年度の定住支援センターを通じてUIターン者数は、50名を超えました(相談は400件超)。相談体制の強化や町の魅力を発信することで、確実な移住につなげます。

本町の有効求人倍率は1.95倍(昨年12月)で、求人に対して求職者数は少ない状況です。人材確保支援センターを設置し、出身者や大学、短大、専門学校などと連携して人材の確保を進めます。

### 自然環境

- 赤小水力発電の再開発
- 地球温暖化防止対策の推進

赤小水力発電所は、今後の運営主体や施設改修を検討します。

地球温暖化防止対策の推進は、「COOL CHOICE(賢い選択)」の自治体宣言を行い、クールビズ・ウォームビズの推進、住宅のエコ診断や改修助成など、CO2削減への意識改革、自発的な取り組みの拡大・定着を進めます。

### 生活環境

- 定住の促進
- 公営住宅の整備
- 地域公共交通対策の推進
- 国道54号活性化対策の推進
- 簡易水道・下水道の整備
- 道路網の整備
- 中山間地域整備事業の推進
- 情報通信施設の高速化
- 携帯電話不感地域解消

公営住宅整備は、老朽化著しい衣掛団地の建設事業に着手します。

地域公共交通は、昨年10月に実証運行を開始したデマンド型乗合タクシーの利用実態や課題を整理し、本年度中の本格運行を目指します。

水道・下水道整備は、佐見地区水道整備、杉戸浄水場改修、合併処理浄化槽整備などを進めます。道路整備は、改良路線の進捗を図り、八神千原線などの新規改良路線の測量などを実施するほか、長寿命化、法面対策など、生活道の安全確保を